

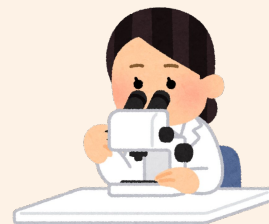
2025年度 SSH特設科目「SSII」

【第17回】

今後の専門的課題研究に向けて



2025年11月11日（火）



探究Dayを終えて

- 今後に向けての課題整理と改善提案 -

①研究プロセスにおける課題（アンケート調査）

【 課題整理 】

1. **回答者負担の大きさ**：設問数が多すぎる、自由記述が多用されるなど、回答者に過度な負担をかけるアンケートも散見される。
2. **分析の見通しの甘さ**：集めたデータをどのように分析し、どんな結論を導くのか、その道筋が曖昧なまま調査をしていないか。

【 改善提案 】

1. **設問の絞り込み**：結論に必要なデータのみ設問を絞り込む。
2. **分析の事前設計**：設問結果が「結論のどの部分を支える根拠になるか」という分析の道筋を事前に明確に描く。

②発表準備における課題（計画性と資料作成）

【課題整理】

1. **準備の計画性不足**：発表資料作成の最終段階で時間的余裕がなくなり、資料の完成度や発表練習の時間が不十分となったチームも。
2. **資料の可読性不足**：背景色と文字色のコントラストが低い、文字情報が過密で余白が少ないものもいくつかあった。

【改善提案】

1. **逆算と中間目標**：発表日をゴールとし、中間目標を逆算して設定
2. **情報デザインの徹底**：資料は「見せるもの」であることを意識し、高コントラスト配色、十分な余白活用、情報のグループ分けを行う。

③結論の論理性の課題（データに基づく信頼性）

【課題整理】

1. **論理的補強不足**：最も重要な結論や考察が、提示されたデータによって十分に裏付けられておらず、理由付けが弱い。
2. **統計的処理の曖昧さ**：データの解釈や集計方法について、統計的な厳密さが欠けている。

【改善提案】

1. **論理構造の確立**：「結論→データによる根拠」の順序を徹底し、図表と結論を明確に紐づける。
1. **適切な統計処理の適用**：データの性質に応じた適切な集計・分析

④発表技術の課題（話し方と姿勢）

【課題整理】

1. **声量**：声量が小さく聞き取りにくいとの意見を多く頂戴した。
2. **視線と態度**：視線が原稿やポスターに終始固定され、聴衆とのアイコンタクトが取れていない発表も少なくない。

【改善提案】

1. **発声練習**：発表する環境を意識した声量で、発声練習をする。
2. **リハーサルの徹底**：発表時間を厳守し、原稿を見ずに話す練習を徹底。視線は聴衆に返し、堂々と話す姿勢を身につける。

⑤公的マナーの課題（場の意識と振る舞い）

【課題整理】

1. **聴衆側のマナー**：聴衆が周囲の発表を妨げる行為（無駄な嘯し立てなど）も指摘されている。
2. **公的態度**：開会式・閉会式において、起立せず地べたに座り込む、スマホ操作、私語などの規律を欠く行為も見られた。

【改善提案】

1. **マナーの徹底**：公衆の場でのマナーとエチケット、聴衆としての敬意を徹底する。
2. **場の意識**：話者に視線を送るなど当然の礼儀をわきまえる。

外部連携における対応方針

外部の方々との連携を安全かつ適切に進めるための原則

原則	対応内容
やり取りの 範囲の限定	外部の方々とのコミュニケーションは、 「 学習・探究活動に関わる内容 」に限定することを徹底
担当教員の CC追加	メール連絡の際には、 担当教員(コーチ) を必ずCCに入れて行い、またそれを外部の方にもお願いする。
事前相談の 徹底	外部の方とのやり取りを行う前に、内容や目的について 事前に担当教員(コーチ)に必ず相談 し、指示を仰ぐ。

これからの専門的課題研究

- 生徒探究発表会に向けた活動 -

専門的課題研究のイメージ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチクエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

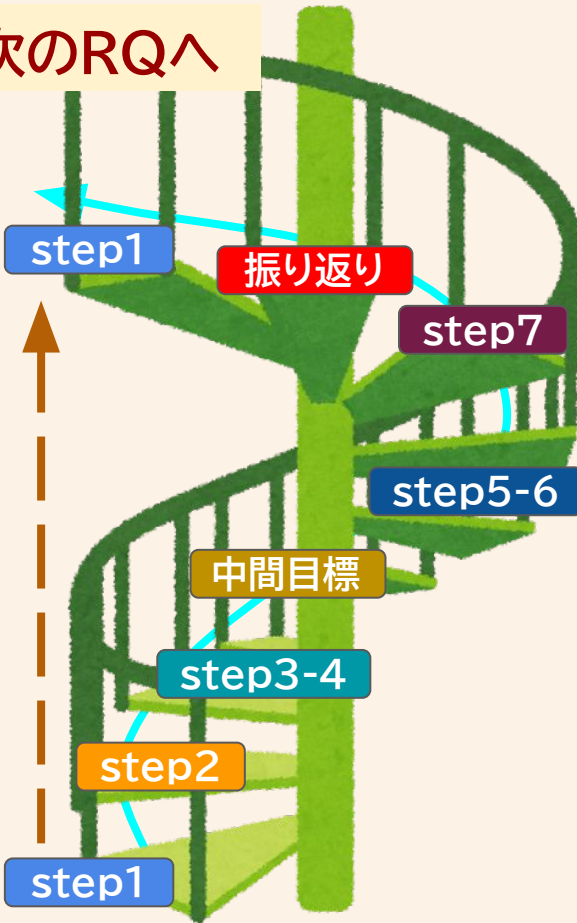
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



「SS II」の評価

※発表の評価対象には発表資料(ポスター、スライド、研究要綱など)も含まれます。

知識・技能	専門的課題研究計画書兼報告書 探究DAY専門的課題研究中間発表(11月) 専門的課題研究成果発表(2月)
思考力・判断力・表現力	専門的課題研究計画書兼報告書 探究DAY専門的課題研究中間発表(11月) 専門的課題研究成果発表(2月)
主体的に学習する態度	探究ノート(通年) 探究DAY専門的課題研究中間発表(11月) 専門的課題研究成果発表(2月) 学年末の振り返り

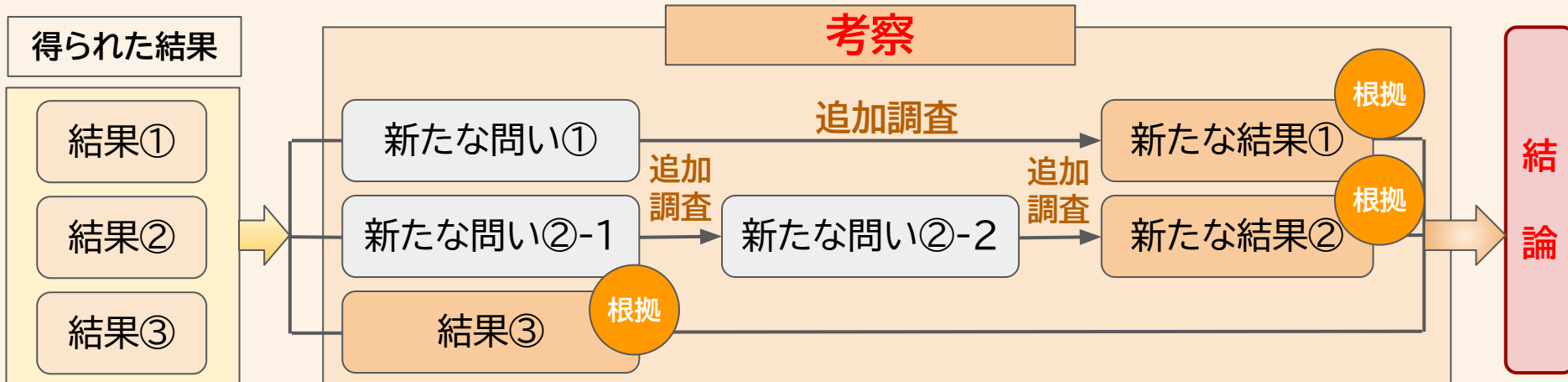
今後の予定

11/11	第17回	課題研究活動（探究Day振り返り）※40分授業	
11/25	第18回	課題研究活動（探究発表会に向けて）	
12/9	第19回		年内に探究Dayまでに 検証しきれなかった課題の 考察や追加調査を 実施しないと間に合わない！
12/16	第20回		
12/23	第21回	ポスター制作	
1/13	第22回		
2/10	第23回		※40分授業
2/14（土）	生徒探究発表会		

考察の進め方（課題研究メソッド 第4章）

前提として、リサーチクエスチョンに対して、仮説を立て、
仮説を検証するための研究方法を選択して、結果が得られている。

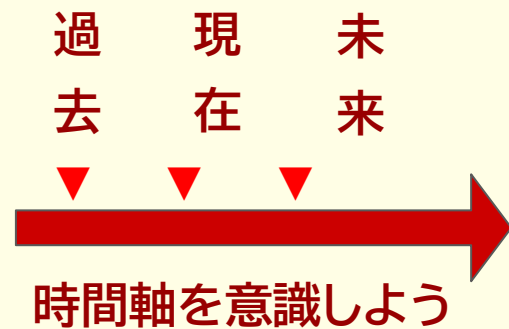
→ **考察**とは、得られた結果を分析し、**結果に含まれる事実や
次の研究につながる問い、リサーチクエスチョンの答えとなる
結論を導く最重要ステップ**である。



探究のサイクルを促進する作業＝ふりかえり

研究に対するふりかえり

1. 質疑応答でどんな質問・意見・アドバイスがあった？
2. ルーブリック評価で足りなかったところは？
3. 探究Dayまでに明らかにできたことは？
4. 探究Dayまでに明らかにできなかったことは？
5. 1～4を踏まえて考えられる今後の課題は？



自分に対するふりかえり

1. 探究しているテーマについて、自分の中でどんな認識の変化が見られた？
2. 探究していてどのような発見があった？(学術的なことに限定しない)
3. 探究を通じて自分自身に変化はあった？
4. 1～3を踏まえ、あなたが今後の探究活動を通して最も高めたい力は？

本日のタスク

❖ 【探究Day後】 これからの課題研究に向けて

探究Day振り返りフォームのルーブリック評価を参考にしながら、これまでの研究活動を総括し、今後の課題研究の指針や自らの目標を記入してください。

❖ 25秋(中1～高2)コンピテンシーに関する調査

皆さんが身につけた「資質・能力」についてのアンケートです。自分の学びを振り返り、今後につなげる機会にしてください。回答に悩むものもあるかもしれませんが、深く考えず思いついたままに答えてください。